

日本におけるマレーシアの砂糖税の導入 マレーシア砂糖税は日本の生活習慣病に有効か

興津恵¹ 倉品飛庸² 毛利雪之丞³ 森一将⁴

¹ 非会員 文教大学 経営学部 経営学科

E-mail: b8r11035@bunkyo.ac.jp

² 非会員 文教大学 経営学部 経営学科

E-mail: b8r11057@bunkyo.ac.jp

³ 非会員 文教大学 経営学部 経営学科

E-mail: b8r11176@bunkyo.ac.jp

⁴ 正会員 文教大学 経営学部

E-mail: morik@bunkyo.ac.jp

マレーシアの砂糖税を仮に日本に導入する場合、生活習慣病と健康課税の関係について調べ日本における生活習慣病が抑制できるのかを検討する。マレーシアはアジアで最も肥満度の高い国であり、健康増進政策の一環としてペットボトルや缶入りの飲料のうち、100ミリリットル当たりの糖類含有量が5グラムを超える飲料を対象に、1リットル当たり12円の砂糖税を導入した結果、肥満の抑制に成功した。そこで、日本では、糖尿病を含み、生活習慣病を引き起こす肥満の増加が社会問題となっており、生活習慣病の抑制として、マレーシア砂糖税を導入した場合の日本での有効性について調査する。

Key Words : マレーシア砂糖税、生活習慣病

1.はじめに

本研究では、マレーシアの砂糖税を仮に日本に導入する場合、生活習慣病と健康課税の関係について調べ、日本における生活習慣病が抑制できるのかを検討する。現在、マレーシアはアジアの中で最も肥満度の高い国として、極めて深刻な社会問題を抱えている。そこで、マレーシア政府は健康増進政策の一環としてペットボトルや缶入りの飲料のうち、100ミリリットル当たりの糖類含有量が5グラムを超える飲料が対象で、1リットル当たり12円の砂糖税を導入した結果、肥満の抑制に成功した。

そして、現在、日本では糖尿病を含む生活習慣病を引き起こす肥満の増加が社会問題である。日本の糖尿病などを含む生活習慣病は40.50代になってから増加する傾向があり、生活習慣病における日本人の死亡者数は約6割を占めている。そのため、日本でも若い内から糖類・砂糖類の取り過ぎを抑制し、日本の生活習慣病を抑制する

ために、仮にマレーシア砂糖税を日本に導入した場合の有効性についてアンケート調査を行い検証した。

2. 実験の概要と手続き

2020年10月に私立大学経営学部の学生47名（男性29名、女性18名）を対象に砂糖税と「生活習慣病に関するアンケート」を実施した。「砂糖税と生活習慣病に関するアンケート」では5件法によるアンケートとした。また、「砂糖税と生活習慣病に関するアンケート」ではマレーシアで導入されている砂糖税を日本で導入した場合の生活習慣病の抑制傾向についてとマレーシア砂糖税が導入された場合の有効性について調べた。

3. 分析結果

まず、砂糖税の有効性と甘味飲料の嗜好度の関係性について、テューキーHSD法を用いて多重比較を行い分析した。(図1) その結果、マレーシア砂糖税有効得点

($t=4.41, p=0.43$) 及び有意差はみられなかった。

この分析結果からいえることは、マレーシア砂糖税の有効性と甘味飲料の嗜好度の関係性が低いため、日本に導入された場合、健康課税として一定の税収は期待できると考察するが、有意差がみられないためこの関係性は増税をすることによって有意差が現れてくると考察する。

次に、砂糖税の有効性と生活習慣病の留意についての関係性について、得点化した。砂糖税の有効性については、マレーシア砂糖税有効性と日本国内砂糖税導入の有効性の2つを下位尺度としてマレーシア砂糖税有効性得点とした。そして、マレーシア砂糖税有効性得点と生活習慣病の留意についてテューキーHSD法を用いて多重比較を行い分析した。(図2) その結果、マレーシア砂糖税有効性得点 ($t=4.41, p=0.05$) 及び日本国内砂糖税導入に有意差はみられた。この分析結果からいえることは、以下の点である。

まず、砂糖税の有効性(マレーシア砂糖税と日本に砂糖税を導入した場合)と生活習慣病の抑制については、相関係数がやや高いため、これらの関連性はあると示唆される。

4. 結論

本研究では、一般大学生を対象とし、健康課税実施時のマレーシア砂糖税導入における日本の生活習慣病の抑制するアンケートを用いて調査した。マレーシア砂糖税の有用性を示し、日本の生活習慣病は抑制できる分析結果は得られなかったが、増税をすることで砂糖税の周知や関心による購買行動の変化、生活習慣病に対する意識変化につながる事が期待できる。

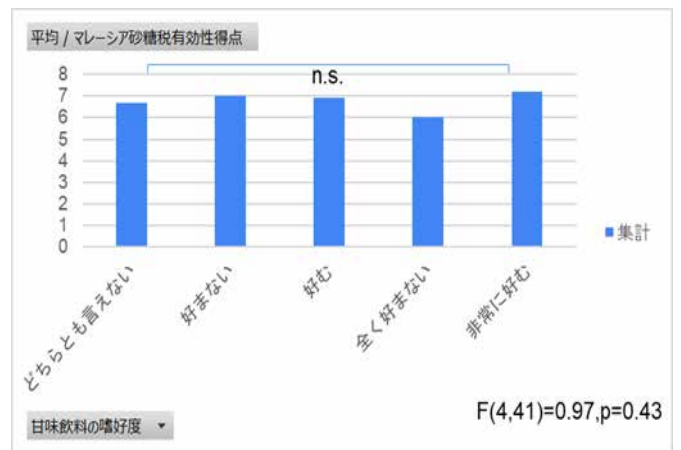


図1 砂糖税の有効性と甘味飲料の嗜好度の関係性

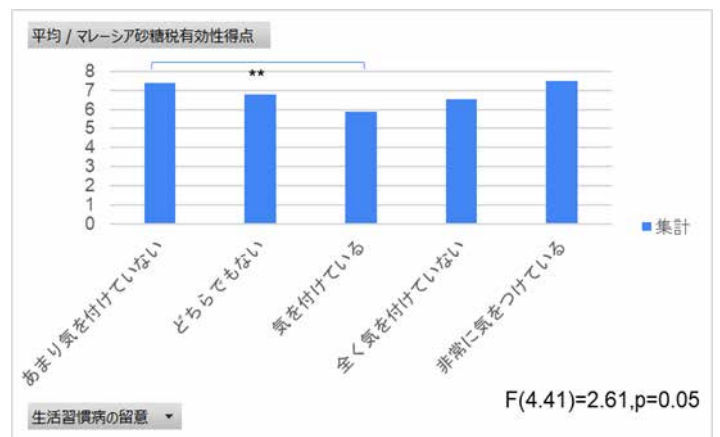


図2 砂糖税の有効性と生活習慣病の留意